

校長室より

岡山市立御津中学校 校長 只野 牧人

校長の只野 牧人（ただの まきと）です。

本校は、1958（昭和 33）年 9 月、当時御津町にあった 3 つの中学校（鴨陽中学校・金川中学校・御津中学校）を統合して設立されました。そして、2005（平成 17）年 3 月、御津町と岡山市の合併に伴って、「御津町立」から岡山市立御津中学校へと校名を変更したのです。

J R 岡山駅から車で北へ約 40 分のところに位置し、学区の面積は 114.42 km²、東西 16.3 km、南北 12.4 km となっています。近くを旭川が流れ、学区の約 76% を占める山林が見せる四季折々の変化は、自然の美しさと豊かさを感じさせます。一部スクールバス通学の生徒がおり、本校が沖縄修学旅行で利用する岡山空港へは、車で約 20 分となっています。

地域の方は、以前から学校園に対して心の拠り所として大きな期待を寄せています。そこで、2002（平成 14）年度から学区内にある 6 つの市立学校園（3 小学校、1 認定こども園、2 保育園）と連携して、「御津地区教育研究会」を立ち上げ、教育効果の向上を目指して取り組んでいます。

2010（平成 22）年度からは地域協働学校として、学区内にある 6 つの市立学校園だけでなく学区内にある県立高等学校も加え、保護者・地域の方ともより一層連携を深めています。あわせて地域コーディネーター事業も取り入れ、多くの学校支援ボランティアも教育活動を支えています。その地域連携が活かされている主な行事には、カルチャースクール、3 年ふるさとボランティア、2 年職場体験、1 年御津地域探求などがあります。このような連携を通じて、「地域とともにある学校」を実感することが多いです。

本校の校訓と目指す生徒像は、次の 3 つです。

自主：自ら学ぶ意欲と学ぶ力を持った生徒

創造：広い視野を持ち、創造力豊かな生徒

おもいやり：心身ともに健康で、思いやりのある生徒

これらの実現に向けて、チーム学校として取り組んでいるところです。引き続き、保護者や地域の方の期待にも応え、開かれた学校・信頼される学校づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。